

令和5年度全国学力・学習状況調査

中学校・英語「話すこと」調査の実施に係る留意事項

目次

1 指定された実施日について

トラブル①：指定された実施日以外の日の実施した結果、端末の動作が重かった。

2 実施環境の整備について

トラブル②-1：ネットワークへの負荷が大きく、動作が度々止まってしまった

トラブル②-2：調査の途中で端末のOSアップデートが始まってしまった。

トラブル②-3：端末の充電が不足し、調査の途中で端末の電源が切れてしまった。

3 学習 e ポータルの年度更新処理について

トラブル③：学習 e ポータルで英語「話すこと」調査の問題プログラムを配信した後に、学習 e ポータルの年度更新処理をしてしまったため、実施日に生徒アカウントに配信されておらず、実施できなかった。

4 学習 e ポータルのアカウント・オンラインログイン番号について

トラブル④-1：1回目で正常に全ての音声データを登録できなかったのをやり直したが、やり直しの際に1回目と異なる学習 e ポータルのアカウントを使用したため、どれが採点すべき音声データなのかわからなくなった。

トラブル④-2：学習 e ポータルのアカウントを複数の生徒で共用してしまったため、後日、解答した音声を確認できない生徒がいた。

トラブル④-3：同じ ICT 端末を複数の生徒に使用させ、学習 e ポータルのアカウントも共用してしまった。更に、後から実施した生徒が、オンラインログイン番号の入力画面において、前に実施した生徒が入力した数値が残っていたため、自分のオンラインログイン番号を入力せず、そのまま解答を進めてしまった。その結果、後から実施した生徒の解答データで上書きされ、前に実施した生徒の解答データが消えてしまった。

5 解答（回答）用紙の表紙の保管について

トラブル⑤-1：解答（回答）用紙の表紙を誤って回収用の段ボール箱に入れてしまい、実施日に英語「話すこと」調査が実施できなくなってしまった。

トラブル⑤-2：解答（回答）用紙の表紙をシュレッダーにかけてしまい、実施日に英語「話すこと」調査が実施できなくなってしまった。

6 オンラインログイン番号の入力について

トラブル⑥：オンラインログイン番号を入力する画面で、実施手順の説明のために電子黒板に表示されていた問題確認用のオンラインログイン番号を、生徒が誤って自分のオンラインログイン番号として手入力した。

7 解答の正常な終了の確認について

トラブル⑦：最後まで解答を完了せず、ブラウザの右上の☒で終了したため、生徒が解答音声の確認ができなかった。

8 調査後の生徒による解答音声の確認について

トラブル⑧：英語「話すこと」調査実施の最後の場面で、生徒が解答を確認するが、動画再生ボタンを押してしまった。生徒の解答音声は再生されなかったため、正常に音声データを登録できなかったと勘違いし、再実施した。

9 【制限無】と記載された問題プログラムの扱いについて

トラブル⑨：再配信の手間を省くために、あらかじめ【制限無】と記載された問題プログラムを1週間程度の期間で配信していたところ、生徒が ICT 端末を自宅に持ち帰り、自宅で誤って再実施してしまったため、自宅で実施した録音が最新のデータとなった。

1 指定された実施日について

御留意いただきたい事項

○ 英語「話すこと」調査の実施日について改めて確認し、実施日を遵守してください。**オンラ**

イン実施マニュアル（期）10 ページ

※ 実施方法と実施日は中学校調査 Web システムから確認いただくことができます。

※ 実施日を変更したい場合は、中学校調査コールセンターまで連絡してください。なお、少人数での再実施であれば、中学校調査コールセンターに連絡することなく、個別に再実施していただけます。5月26日までに録音された解答は最新のものを採点しますので、生徒一人一人に適切な採点結果を返却するために、再実施することを検討してください。

文部科学省 | 令和5年度 全国学力・学習状況調査(中学校調査) Webシステム | まるまる市立第一中学校 000000011

トップページ よくある質問 ログアウト

Web システムのトップページに
実施日が記載されています。

オンライン調査の実施に関しては以下の日程で実施してください。(令和5年2月28日時点の情報を基に表示)

国語・数学・英語（3技能）調査実施日	: 令和5年4月18日（火）
英語「話すこと」調査実施日	: 令和5年4月25日（火）（期間内実施校）
生徒質問紙調査実施日	: 令和5年4月21日（金）（オンライン実施）

配送・回収連絡（実施方法等）を確認する
ステータス：確認済
更新日：2023年03月28日 19:57
入力期限：4月7日（金）17時まで
配送・回収連絡（実施方法等）の確認

学校質問紙調査に回答する
ステータス：登録済
更新日：2023年04月10日 09:34
入力期限：4月18日（火）17時まで
学校質問紙調査

【お知らせ】
令和5年度のWebシステムを開設しました。情報提供、入力等を本サイトから行いますので適時ご確認ください。
WEBシステムの稼働時間は6時から24時まで（土曜祭日・年末年始期間を除く）

【トラブル例】

トラブル①：指定された実施日以外の日実施した結果、端末の動作が重かった。

※ MEXCBT や各学習 e ポータル、各自治体のネットワークにアクセスが偏って集中することがないように、各学校の希望に基づき、実施日を指定しています。各校が指定日を守らずに予期しないアクセスが集中した場合、それぞれのシステムやネットワークに致命的な障害を引き起こす可能性があります。

2 実施環境の整備について

御留意いただきたい事項

- ネットワークへの負荷を軽減するため、他学年のネットワーク使用の抑制や分散実施の調整を行ってください。 [オンライン実施マニュアル（期）13 ページ](#)
- ※ 特に、2～3月の事前検証②において円滑に実施できなかった学校におかれては、適切なネットワーク環境の確保のために、校内実施の分散（複数単位時間での実施、同時実施人数の更なる抑制など）も検討してください。 [オンライン実施マニュアル（期）14 ページ](#)
- ICT 端末等の確認を行ってください。 [オンライン実施マニュアル（期）21 ページ、39 ページ](#)
- 実施日前日までに確実に調査問題を配信してください。 [オンライン実施マニュアル（期）27 ページ](#)
- 2～3月の事前検証②を踏まえた「事例検証②トラブルシューティング」（令和5年3月30日付け事務連絡「令和5年度全国学力・学習状況調査の中学校英語「話すこと」調査の実施に係る補足・変更事項について」別添資料①。Web システムにも掲載）も改めて確認してください。

【トラブル例】

- トラブル②-1：ネットワークへの負荷が大きく、動作が度々止まってしまった
- トラブル②-2：調査の途中で端末の OS アップデートが始まってしまった。
- トラブル②-3：端末の充電が不足し、調査の途中で端末の電源が切れてしまった。

3 学習 e ポータルの年度更新処理について

御留意いただきたい事項

- 学習 e ポータルの年度更新作業について、改めて英語「話すこと」学習 e ポータル簡易マニュアルで確認してください。 [オンライン実施マニュアル（期）25 ページ](#)
- ※ 調査問題の配信後に学習 e ポータルの年度更新処理を行うと、生徒アカウントに調査問題が配信されない場合がありますので、御注意ください。

【トラブル例】

- トラブル③：学習 e ポータルで英語「話すこと」調査の問題プログラムを配信した後に、学習 e ポータルの年度更新処理をしてしまったため、実施日に生徒アカウントに配信されておらず、実施できなかった。

4 学習 e ポータルのアカウント・オンラインログイン番号について

御留意いただきたい事項

○ 学習 e ポータルのアカウント・オンラインログイン番号は、複数の生徒で使い回さず、必ず各生徒に割り当てられたアカウント・番号を利用してください。 **オンライン実施マニュアル**

(期) 24 ページ、41 ページ

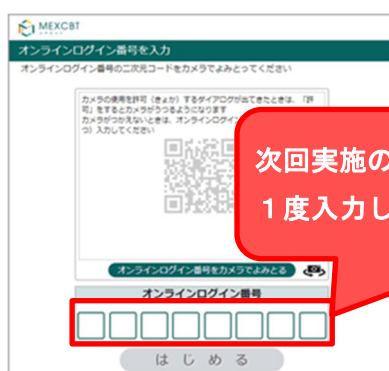
※ 異なる生徒が同じ学習 e ポータルのアカウント (ID・パスワード) でログインしてしまうと、先生が後から生徒の実施状況を学習 e ポータルから確認しようとした際にも、最後に受けた生徒の音声データしか、確認できなくなってしまう、それ以前に受けた生徒の音声データが全て正しく登録できているかを確認することができません。その結果、それらの生徒には採点結果を返却できなくなる可能性があります。

【トラブル例】

トラブル④ー1：1回目で正常に全ての音声データを登録できなかったのをやり直したが、やり直しの際に1回目と異なる学習 e ポータルのアカウントを使用したため、どれが採点すべき音声データなのかわからなくなった。

トラブル④ー2：学習 e ポータルのアカウントを複数の生徒で共用してしまったため、後日、解答した音声を確認できない生徒がいた。

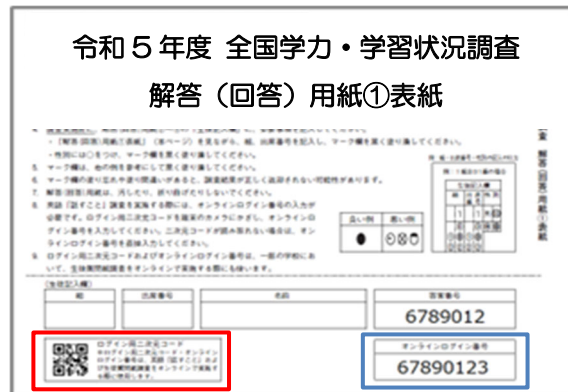
トラブル④ー3：同じ ICT 端末を複数の生徒に使用させ、学習 e ポータルのアカウントも共用してしまった。更に、後から実施した生徒が、オンラインログイン番号の入力画面において、前に実施した生徒が入力した数値が残っていたため、自分のオンラインログイン番号を入力せず、そのまま解答を進めてしまった。その結果、後から実施した生徒の解答データで上書きされ、前に実施した生徒の解答データが消えてしまった。



5 解答（回答）用紙の表紙の保管について

御留意いただきたい事項

- 英語「話すこと」調査には「解答（回答）用紙①表紙」の左下のQRコード（又は右下のオンラインログイン番号）が必要です。「解答（回答）用紙①表紙」については、紛失等しないように確実に学校で管理してください。[オンライン実施マニュアル（期）42 ページ](#)



- また、「解答（回答）用紙①表紙」は生徒への結果返却の際に答案番号と生徒を紐づける資料にもなりますので、調査結果を各生徒へ提供するまで金庫等で厳重に保管してください。[オンライン実施マニュアル（期）42 ページ](#)

【トラブル例】

- トラブル⑤-1：解答（回答）用紙の表紙を誤って回収用の段ボール箱に入れてしまい、実施日に英語「話すこと」調査が実施できなくなりました。
- トラブル⑤-2：解答（回答）用紙の表紙をシュレッダーにかけてしまい、実施日に英語「話すこと」調査が実施できなくなりました。

6 オンラインログイン番号の入力について

御留意いただきたい事項

- 生徒がオンラインログイン番号を入力する際には、手入力ではなく、解答（回答）用紙の表紙左下のログイン用二次元コードを使用することを基本としてください。[オンライン実施マニュアル（期）41 ページ](#)
- ※ 手入力により誤ったオンラインログイン番号を入力した場合、成績を返却できなくなる場合があります。
- 端末のカメラで二次元コードの読み取りができない場合は、オンライン実施マニュアルのQ27、28を参照して対応を検討してください。[オンライン実施マニュアル（期）83 ページ](#)

【トラブル例】

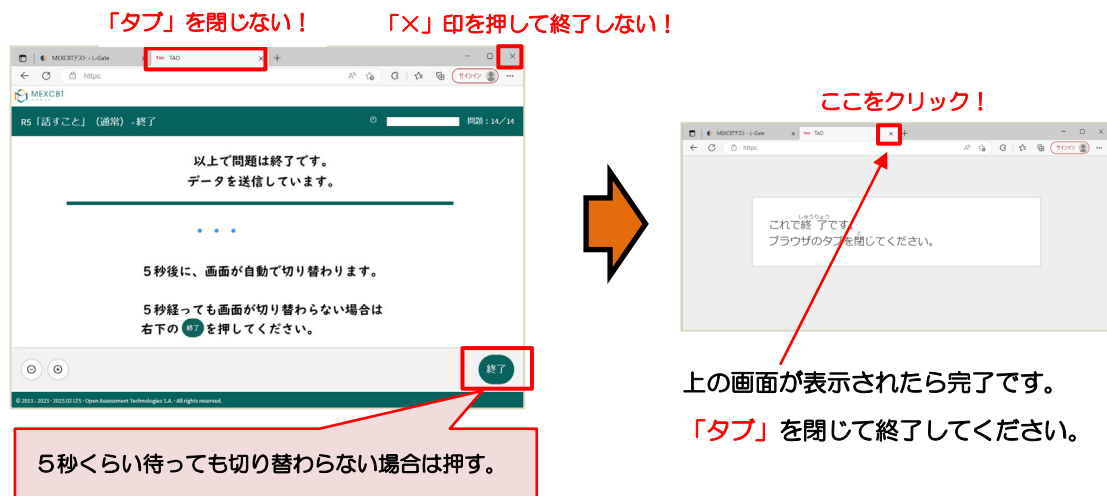
トラブル⑥：オンラインログイン番号を入力する画面で、実施手順の説明のために電子黒板に表示されていた問題確認用のオンラインログイン番号を、生徒が誤って自分のオンラインログイン番号として手入力した。

※ 問題確認用のオンラインログイン番号が入力されたデータは採点されません。

7 解答の正常な終了の確認について

御留意いただきたい事項

- 英語「話すこと」調査は、最後の「データを送信しています」という画面に進むと、その後自動で「これで終了です。ブラウザのタブを閉じてください。」という画面に切り替わります。万が一、自動で画面が切り替わらない場合は、右下の緑の「終了」ボタンをクリックするようにしてください。**この画面で「×」でタブを閉じてしまうと、音声データが送信されず、当該生徒の解答を採点することができないため、個人票を返却することもできません。** オンライン実施マニュアル（期）52 ページ



- 各生徒が正しく調査を完了できているかを学校で確認することもできます。 オンライン実施マニュアル（期）58 ページ
- 調査完了となっていない生徒がいた場合、当該生徒が実施した問題プログラムを再度実施すれば、中断された箇所からやり直すことが可能ですので、正しい方法で終了させてください。

【トラブル例】

トラブル⑦：最後まで解答を完了せず、ブラウザの右上の×で終了したため、生徒が解答音声の確認ができなかった。

8 調査後の生徒による解答音声の確認について

御留意いただきたい事項

- 調査の最後に音声録音されたかを生徒が確認する際に、動画再生ボタンと録音音声再生ボタンの押し間違えが発生しています。「解答の確認」実施時には動画再生ボタンのさらに下にある録音音声再生ボタンを押して音声を確認してください。 [オンライン実施マニュアル（期）](#)

53 ページ



【トラブル例】

トラブル⑧：英語「話すこと」調査実施の最後の場面で、生徒が解答を確認するが、動画再生ボタンを押してしまった。生徒の解答音声再生されなかったため、正常に音声データを登録できなかったと勘違いし、再実施した。

9 【制限無】と記載された問題プログラムの扱いについて

(注) オンライン実施マニュアル(期)56 ページにある「再配信をしても同じエラーが表示される場合」の対応として、再配信エラー対応用の【制限無】と記載された問題プログラムを配信する又は配信した学校向けの留意事項です。

御留意いただきたい事項

- 【制限無】と記載された問題プログラムを1回目の配信においては使用しないでください。
【制限無】と記載された問題プログラムは、オンライン実施マニュアルに記載している通常使用する問題プログラムを再度配信しても、「受検回数の上限に達しました」というエラーが発生するときのみ配信していただくことを想定して設けているものです。
- 仮に【制限無】と記載された問題プログラムを使用する場合においても、配信期間は可能な限り短い期間で設定してください。必要以上に長い配信期間を設定した場合、予期せぬかたちで解答が上書きされる可能性があり、調査結果の信頼性が損なわれることになります。

【トラブル例】

トラブル⑨: 再配信の手間を省くために、あらかじめ【制限無】と記載された問題プログラムを1週間程度の期間で配信していたところ、生徒がICT端末を自宅に持ち帰り、自宅で誤って再実施してしまったため、自宅で実施した録音が最新のデータとなった。

問題プログラムの配信はマニュアルに従って適切な問題を適切な時期に生徒が回答できるように設定してください。

